

### 「当たり前の大切さ」

今年も昨年に引き続き『我慢のゴールデンウイーク』『ステイホームの連休』となりました。さらに緊急事態宣言が5月31日まで延期となり、体育学習発表会も延期することになります。本来ならスポーツや文化活動などの各種大会、家族での旅行、親戚とのふれあいなど子どもたちが学校ではできない体験の機会が多くあったはずのゴールデンウイーク、そして新緑の中での体育学習発表会が行われるはずでしたが残念です。とにかく収束を願うばかりです。

着任して一ヶ月。子どもたちの登校の様子を見ていると班長が1年生の様子を気にかけてながら、優しく声をかけ登校しています。多くの地域の見守り隊や保護者の方々に守られながら、元気に登校をしている子どもたち。「おはようございます」とあいさつをすると元気なあいさつが返ってきます。あいさつはその日の活力を生みます。

さて、これからの学校生活を頑張るには「基本的な生活習慣」を身につけることが大切です。そこで、児童の1日の生活の中で、具体的な場面を少しみていきたいと思います。①自分で起きる ②家の人とあいさつをする ③朝ご飯を食べる ④歯磨き・洗顔をする ⑤服装や持ち物を整える ⑥学校で友だちや先生とあいさつをする ⑦下足場に靴をそろえて入れる ⑧チャイムの合図を守る ⑨給食を好き嫌いなく食べる ⑩掃除を一生懸命する ⑪係や委員会の仕事を責任持って取り組む ⑫決められた時間に宿題をする ⑬時間をみて遊ぶ(ゲームやスマホの使う時間を決める) ⑭夕食を食べる ⑮お風呂に入る ⑯十分睡眠をとるなど、まだまだ考えられます。ひとつひとつのことを毎日続けていくとなると、なかなか難しいのが現実です。

しかし、生活習慣が定着している児童のほとんどは、どんなことにも頑張れる力が身についています。小さなことを毎日積み重ねていくことにより、それが自然と自分のものとなり、知らず知らずのうちに力となってくるものです。当たり前のことが着実にできるように指導を継続していきますのでご家庭でもご協力をお願いいたします。

### 「机と椅子が新しくなりました」

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が延長されたことにより予定されていた4月の参観日を中止せざるをえなくなりました。子どもたちが新しいクラスで頑張っている様子を来校していただき参観していただける機会でしたが、本当に残念です。本来なら参観された際に児童の様子と共に机と椅子が新しくなったことも見ていただけるはずでした。教科書が昨年度改訂されサイズが少し大きくなったことと児童の体の成長に合わせて高さを調節しやすいものになりました。体の大きさに合った机や椅子を利用することは姿勢を良くすることにつながり、学習の効果を高めることになります。

(校報おやけ5月号より抜粋)